

関東甲信越ブロック支部の平成 24 年度活動報告

関東甲信越ブロック支部代表 梶井 英治

関東甲信越ブロック支部の平成 24 年度の活動を報告いたします。

平成 24 年 12 月 2 日（日）に第 1 回関東甲信越地方会を開催いたしました。同地方会は、関東甲信越ブロック支部の現状を共有し今後の活動の方向性について議論を深めること、また関東地方で家庭医を目指すレジデントの知識・技術の向上を図りより良い家庭医を育成することを目指して、第 3 回家庭医療研修プログラム関東レジデントフォーラムとの共同開催という形を取りました。地方会に先立ち、関東甲信越ブロックの 10 都県における活動の現状を共有するために調査を実施しました。

第 1 回関東甲信越地方会では、最初に本学会理事長 丸山 泉 先生に『日本プライマリ・ケア連合学会の現状とこれからのシナリオ』というタイトルで、基調講演をしていただきました。丸山理事長は、学会の今後の方向性を明確に述べられ、参加者にしっかり伝わったと思います。続いて、先の都県支部アンケート調査結果について報告をいたしました。この結果も踏まえながら、分科会『新しい関東甲信越支部ブロックづくり』を行いました。分科会は、①関東甲信越ブロック支部の組織について、②関東甲信越ブロック支部の活動について、③多職種が参加するブロック支部づくりについて、④都県支部の組織・活動について、の 4 テーマに分かれて実施いたしました。いずれのテーマにおいても、今後の活動に繋がる議論がなされました。なお、分科会での議論内容は、後日、報告書に取りまとめて、ブロック支部内の会員の皆様にお送りいたしました。分科会の後に、シンポジウム『地域医療を担う医師のロールモデルを探そう』を行いました。いずれのシンポジストもロールモデルであり、研修医や学生にとってインパクトあるメッセージが伝えられたと思います。

第 3 回家庭医療研修プログラム関東レジデントフォーラムでは、研究・症例発表会や研修プログラムのポスター紹介、研修プログラムの個別相談会、学生・研修医との進路相談会が行われました。

平成 25 年 2 月 24 日（日）に関東甲信越ブロック内の理事ならびに代議員（日本プライマリ・ケア学会）が集まって、関東甲信越ブロック理事・代議員会を開催しました。議事は、今後の関東甲信越ブロック支部の方向性について、役員を選出、平成 25 年度関東甲信越ブロック地方会、その他でありました。3 時間に及ぶ熱心な議論が行われました。その要旨を、以下に示します。

- 〈目的〉 関東甲信越ブロックのプライマリ・ケアの充実・発展を通して地域社会に貢献すること。
- 〈活動〉 コメディカルとの連携や学生・研修医等の育成に関わる事業も重視する。
- 〈組織〉 執行部は設けず、「代議員・理事・監事の会」の議論・決定を重視する。
 - ・ブロック支部の都県支部を設ける（形式上、日本プライマリ・ケア連合学会の都県支部とは別個。今後、日本プライマリ・ケア連合学会で都県支部に関する規定が制定された場合は、それに準ずることを検討する）。
 - ・都県支部について明確な規定を設けず、会員管理は都県支部に一任する（非学会員の参加を許容する）。
 - ・都県支部代表者は支部長の裁量の範囲内で、支部長を補佐する（都県支部を明確に定めていないため都県支部代表者会議に権限を付与することができない）。
- 〈予算〉 平成 24 年度は請求に応じて 5 万円を上限として各都県に活動費を支給（今後は要検討）。・他の活動（都県の活動、都県横断的活動）は、予算計画を提示してもらい上限を定めて支給額を「代議員・理事・監事の会」で決める。
- 〈事業〉 「代議員・理事・監事の会」は日本プライマリ・ケア連合学会の学術集会時に行い、地方会は時期をずらして行う。・次回は平成 25 年 5 月 19 日仙台で開催予定。

以上、関東甲信越ブロック支部の平成 24 年度活動報告をさせていただきました。これから関東甲信越ブロック支部活動の一層の活性化に取組んでまいりたいと思います。よろしくごお願い申し上げます。